

中学生の **税** に関する 作文・標語コンクール



大里地区租税教育推進協議会では「税を考える週間」にあわせ「税に関する作文・標語」を募集し、優れた作品の表彰を行っています。11月17日に熊谷文化創造館「さくらめいと」で表彰が行われました。

ここでは、寄居町からの入賞者を紹介します。

〈敬称略〉

標語の部

関東信越国税局長賞 佳作

税金を おさめて 見守る 使いみち

新井 笙子（男衾中2年）

関東信越国税局長賞 佳作

作れるよ 町と笑顔も 納税で！

野辺 翔太（寄居中3年）

寄居町長賞

税金で 笑顔がふえる 楽しい暮らし

細谷 真樹（城南中1年）

寄居町教育委員会教育長賞

税金が 支えて安心 豊かな未来

伊藤 春花（男衾中1年）

熊谷国税モニター会長賞

「便利だね!!」 税から生まれた 感謝の言葉

安 栞（寄居中2年）

作文の部

熊谷税務署管内納税貯蓄組合連合会佳作

「感謝の気持ち」

塚田紗也加（寄居中3年）

「ガソリン税について」

保泉 昌希（城南中2年）

「豊かな暮らしを願って」

新井 詩歩（寄居中1年）

熊谷税務署管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

「税の制度が在る生活」

吉田 寛之（男衾中2年）

僕達の住む日本では納税という制度が千年以上も昔から存在していた事を町立図書館の本で知りました。とても、歴史が深いと分かり驚きました。また、本には「もしも税の制度が無かったら」という頁もあり、読むと税制度が無かったら生活が不便になると書かれていました。税金はどんな所でどのように使われ役立っているのか考えてみました。

沢山の種類の税金が在る中で僕達は暮らしています。そして、納税という国民の義務があります。この集められた税が何になるのか調べました。すると身の周りあちらこちらに税が姿を変えた物がありました。一番身近な学校、道路、信号、公園、役場、公民館、図書館、街灯等、他にもまだまだありました。

また、姿を変えなくても、警察官や先生等の給料等にもなる事を知りました。「税は多くの人々の為に役立つ

ているのか」と分かり、凄いなと思いました。

他にも調べました。税はどこに集まるのかという事です。まず税は店、会社、あるいは直接町に行くそうです。また、県や国に行く税もあるそうです。町で集められた税があるから、人々の要望等が実現するのです。「税の御陰で電灯がいつも

明るかったり、道が広くなったり学校等に新しい設備が付いたり、安全・安心の町に住めるのか」と思うと、税の制度はとても良い制度だと思いました。

しかし、人々の中には納税が義務なのに、税を納めなかったり、集められた税を使って遊ぶ人等の自分勝手な人も居るので残念にも思います。こんな悪い人達に、「税の凄さ」というものを理解して頂きたいと思っています。「税があるから、こんな事が出来る」事を知って頂きたいと思っています。税金は国民一人一人の為に使われるのです。そんな税金を納めない、無駄遣いするのは悪い事であり、やってはいけません。それに国民全員に迷惑を掛ける事にもなります。貧しい人にとっては納税はとても苦しくなるのでかわいそうだと思います。しかし、そういう人には絶対に助けてくれる人が居ると思います。だから、納税はしっかりと果たして欲しいと思います。

税の制度は、国民一人一人に役立つと思うのととても良い制度だと思っています。しかし、この制度が在るから苦しんでいる人もどこかには必ず居ると思います。それでも、納税を果たしている人は偉いと思います。自分の払った税金が国民の為に役に立っていると思うと嬉しいはずです。そして、どんな町も住みやすくなっています。国民が払った税が町、県、そして、国を変えていきます。僕は税金に感謝します。「税金の御陰」が生活する町のあちらこちらに在り、それが人々に役に立っています。本当に税の御陰で幸せです。ありがとうございます。そして、これからも宜しく御願います。

熊谷税務署管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

「税金は何のためにあるのか」

荒井 美紀（男衾中1年）

最近ガソリン税の話題が多く聞かれました。ガソリン税は、主に自動車を利用する道路や橋やトンネルを作るために使われているそうです。他にも税金があると聞きました。国に納める税金としては、所得税、相続税、消費税、酒・たばこ税、自動車重量税などがあります。また、県に納める税金としては、道府県民税、自動車税、道府県たばこ税などがあります。また、町に納める税金としては、市町村民税、固定資産税、事業所税、軽自動車税、市町村たばこ税などいろいろあります。

それでは、さまざまな形で集められた税金は、どのように使われているのでしょうか。国の税金を考えると医療保険や年金制度などの社会保障費や教育や科学技術をさかんにするために使われたり、道路や河川の堤防、ダムなどの整備に使

われています。そして、県や町の税金は、主に警察・消防・教育・環境整備などの公共サービスに使われています。また、国の税金の一部は、世界の困っている国や人々を援助するために使われたりもします。

しかし、これから先、日本には心配な事があります。それは、日本は他の国にならぬ高齢化が進んでいる上に出生率の低下により少子化も進んでいることです。今までの社会保障制度を続けるためには、今まで以上に税金が必要になると思うからです。今、消費税は5パーセントですが、他の国に比べると低いと言われていて、消費税が上がるかもしれない。消費税が上がると生活が苦しくなるかもしれない。安心して暮らすためにははしかたがないのかもしれない。これからのようにしたらいいのかみんなで考えていく必要

があると思います。ところで、今度寄居町にホンダの工場ができるそうです。そうすると町の税収が増えると聞きました。寄居町は、深谷市や熊谷市のように大きな町ではなかったのですが、今まで大きな工場も少なく、大きな施設もあまりありません。これからはどんなものが必要かを考えてほしいと思います。私は深谷市にあるパティオのような大きなプールを作ってほしいと思います。そうすると、遠くからたくさんの方が来てにぎやかになると思います。また給食も他の町に負けないくらいおいしくしてほしいです。みんなが楽しく学校に行けると

思います。

税金にはいろいろな種類があります。そして、税金はいろいろな使われ方をします。みんなで話し合っどのように税金を集めたらいいか考えて、どのように使ったらよいかみんなで考えて、一円のむだもないようにしてほしいと思います。税金でみんなが幸せに暮らすといいと思います。